

## 地産地消と食品ロス削減の推進

～ 食べ物を大切にして、大きな災害に備えましょう ～

千葉農業事務所企画振興課

令和3年12月14日 発

12月は、千葉地域（千葉市、習志野市、市原市及び八千代市）の主力農作物であるダイコンやニンジンといった秋冬野菜が豊富に出回る月です。

そこで、千葉農業事務所は地産地消を推進するため、12月12日（日）に県立青葉の森公園（千葉市中央区）で開催された書道教室の参加者に対して、千葉市産のお米「粒すけ」を紹介しました。

一方、日本では「食品ロス」（食べられるのに捨てられている食品）が、年間約570万トン発生しており、そのうち約半分が家庭から発生していることを説明し、その削減方法について紹介しました。

また、レトルトカレーを教材にして、一昨年に県内に大きな被害をもたらした「令和元年房総半島台風」などの自然災害に備えるために、普段から日持ちの良い食料を自宅に備えるようお願いしました。

参加者の皆さんは熱心に聞いてくださいました。

